



第6号
令和7年7月8日
北鯖石小学校保健室
【保護者向け】

学校保健委員会報告

6月3日(火)に、学校保健委員会を開催しました。
講話の内容をご覧いただき、ご家庭での火災予防について参考にしてください。

**講話 一般社団法人 火災予防のONELOVE 小池 貴裕 様
(北鯖石小学校 PTA副会長)**

「子どもを守る愛の火災予防」

☆☆☆講話内容☆☆☆

火災ゼロを目指そう!

- *火事を起さないためには、火事が起きないようにすること
が大事。
- *家の中でタコ足配線にしたり、コンセントにはこりがかぶっていたりしないようにする。
- *IHコンロを使うとき、底がへこんでいる鍋の使用、少量の油で料理をしない。
- *ガソリンを誤給油しない。
- *つけていない電気ストーブでも、地震などで、棚の上に置いてあるものが落ちてきて火災になることもある。
- *携帯からいきなり煙が出てきて、火災になることがある。
- *充電中のモバイルバッテリーがいきなり爆発することもある。
- *どれだけ気を付けていても放火されることもある。
- *火災を自分だけの力でゼロにするのは無理!



外出先での火災予防

- *家と違って、外出先での火災予防には限界がある。
- *逃げろマーク(避難口誘導灯):ホテルなどに泊まった時に、
部屋のドアにはってある「避難経路図」を自分の目で確かめることが大切。



*避難器具:火災が起きた時に避難するための器具。逃げ遅れた人が一人ずつ使用するもの。実際に火災が発生すると、一つの避難器具に多くの人が乗って、そこから落ちてケガをしたり亡くなったりしてしまうことがある。→そうならないためにも「逃げろマーク(避難口誘導灯)」の確認を必ずしてほしい。



*防火扉:火と煙を防ぐ扉。逃げ口に火と煙が入ってこないよう、この扉で閉じ込める。また逃げ場を失った時にしっかり閉めて煙を吸わないようにして助けを待つ。防火扉に閉じ込められたと思った時は、真ん中の四角い扉を押せば開く。

家の火災予防

*そうじをする:まわりに燃えるものがないと火災にはならないので、家がきれいに片付いていれば火災にはならない。また、避難するときに階段にものがないほうがいい。だから、そうじをすることは火災予防の中で一番大切。

*逃げる・助かる:家の2階に寝ていて1階で火事が起きて、階段から逃げられないときにどうするかを必ず考えておいたほうがよい。

*早く気づいて早く消す:逃げられるうちに早く気づくことが大切。せっかく気づいても消せなければ意味がない。また、家に消火器は必ず置くようにする。

*柏崎市では、警報機の設置が法律で義務付けられているのは、「寝室」と「寝室のある階段の上」と決められている。ただ、法律で決められたとおりに設置しているから安心だというわけではない。台所は火災が多いイメージがあるが、設置が義務付けられていない市町村が柏崎市を含めて多い。だから、危険だと思われる部屋には設置してほしい。

*2階で寝ていて、1階で火災が起こって1階の火災報知器が鳴っても2階には聞こえない。「連動型」の火災報知器は、もう一つの火災報知機に連動して火災になっていることを知らせてくれる。

*家に帰ったら、火災報知器が設置されているか・電池は切れていないか点検したり、家族で話しあったりしてほしい。

守りたいもの・伝えたいこと

*みんなのやり方でみんなの大切な人を守ってほしい。

*ちょっとしたことに気を付けることが、自分自身・大切な家族・別な家族も守ることができる。

クイズ

Q1:閉まったシャッターからは、どうやって逃げる?

- A 大人の力で簡単に開く。
- B 近くにあけるボタンがある。

C となりに逃げるためのドアがある。

→必ずあるわけではないので、事前に確認しておくことが大切。外出先では必ず避難経路を確認する。



Q2:もし服に火がついたら?

A 走りまわる。

B 転がりまわる。→SDR(Stopとまって! Drop
たおれて! Roll 転がって!)で、
服についた火を消す。

C 水を飲む。

D 消えるまで待つ。



Q3:寝ている時に火事に気付くには?

A ずっと起きている。

B 歯みがきをして寝る。

C 警報機をつける。→火と煙はとても静かなので、警報機がないと火事に気づくのが遅れてしまう。

D あきらめる。

☆☆☆児童の感想☆☆☆

- *火事が起きたあわてずに逃げる手段を探す。家に帰ったら、火災報知器の点検をする。
- *火事が起きたあせらないで、すぐ家族に知らせて玄関に行く。玄関が閉かなかったら窓を開けて早く逃げるようにしたい。
- *火事が起きた時はパニックにならないで、冷静に今どこが火事になっているかをちゃんと確認したい。
- *非常口があるところを確かめたり、火の消し方などを覚えたりしておきたい。
- *服に火がついたら転がることが大切だと思った。他にも、家をきれいにしていれば火災になりにくいことを初めて知った。
- *学校でも家でも避難経路を確認することが大事だと分かった。家に帰ってから火災報知器を確認したい。
- *小池さんの話を聞いてもっと部屋をきれいに保とうと思った。もし寝ている時に火事などが起きたら火災報知器の音で起きられるかちょっと心配になった。
- *もう少し部屋をきれいにすること、コンセントの近くに物を置かないことをしたい。家の人と「逃げ道」や「避難経路」などを確認しようと思った。

☆☆☆お家の方の感想☆☆☆

- *特に外出先での避難経路を確認するよう心がけて、万が一の際にパニックになってしまわないようにしたい。
- *火災で救える命が少ないと驚いた。
- *子どもたちや家族が安全に過ごせるように掃除も気を付けたい。
- *普段、外出先で細かく非常口などの避難経路の確認はしていなかったので、行き慣れない場所の確認をすることが大切だと思った。
- *火災予防はただ気を付けるだけでなく、具体的に避難経路の確認や家で火災用具をそろえる必要があると思った。
大切な家族を守るために知識だけでなく行動にも移したい。
- *家ではタコ足配線ばかりなので、今度確認して防災意識をもっと高く持ちたい。
- *日ごろの気づきで予防できることがたくさんあると思った。
- *家のコンセント部分や冷蔵庫の後ろなどホコリがたまりやすいところをあまり掃除していないので、帰ったら掃除をしてみようと思う。
- *火災は、物も人の命もあっという間に奪っていく怖いものなので、家族を守るために何をしなければいけないのか考えさせられた。

